新機能および補足説明について（ソフトウェア Ver.1.40）

本機はソフトウェアのバージョンアップにより、下記の新機能に対応できるようになりました。

項目	内容
ライブ画ページ 設定メニューー基本ページ	画面に表示する言語の切換に対応します。
設定メニューー基本ページ	画面内文字の文字数を16文字から20文字に拡張します。
設定メニューー基本ページ	設定した日時に従って、サマータイム時刻に切り換えるサマータイムAuto機能に対応します。
設定メニューー基本ページ 設定メニューースケジュールページ	SDメモリカードへの保存モードで、スケジュール保存に対応します。（H.264のみ）
ライブ画ページ 設定メニューーカメラページ	JPEG画像の設定で各解像度の画質を2種類設定することができます。
設定メニューーカメラページ	H.264画像、MPEG-4画像の配信モードとしてベストエフォート配信に対応します。 H.264画像、MPEG-4画像の初期値を変更します。
設定メニューーカメラページ	表示用プラグインソフトウェアで本機の画像を表示する際に、より滑らかに表示する設定を追加します。
設定メニューーカメラページ	EX光学ズームに対応します。（一部機種のみ）
設定メニューーカメラページ	音声の圧縮方式として、G.711に対応します。（一部機種のみ）
設定メニューーアラームページ	独自アラーム通知の拡張情報を追加します。 独自アラーム通知の通知先としてホスト名に対応します。
設定メニューー画像認識ページ	XML通知の通知データフォーマットに、簡易フォーマットを追加します。
設定メニューーユーザー管理ページ	ユーザー認証の認証方式に、ダイジェスト認証を追加します。
設定メニューーサーバーページ	NTPサーバーの設定で、NTPサーバーアドレスをDHCPサーバーから取得する設定を追加します。
設定メニューーネットワークページ	ネットワークの設定で、「DHCPv6」、「DNSプライマリーサーバーアドレス」、「DNSセカンダリーサーバーアドレス」、「RTPパケット最大送信サイズ」、「HTTPの最大セグメントサイズ（MSS）」を追加します
設定メニューーネットワークページ 設定メニューーメンテナンスページ	UPnPに対応します。（自動ポートフォワーディング、カメラへのショートカット）
設定メニューーヘルプ	ヘルプ画面を廃止します。 操作方法、設定方法については、取扱説明書をお読みください。
携帯端末	携帯端末からの画像閲覧機能でAndroid™端末に新たに対応します。 また、解像度切換、AUX制御に対応します。
機能名称変更	一部機能の機能名称を変更します。
みえますねっとPRO	みえますねっとPROに対応します。 みえますねっとPROについては、みえますねっとPROの説明書をお読みください。

本書では、新機能の設定方法と制約事項などについて説明します。これらの機能については本書の内容を参照してください。また、本機に付属の取扱説明書もあわせてお読みください。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。
本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

SW355 ：DG-SW355で使用できる機能です。
SF335 ：DG-SF335で使用できる機能です。
SF334 ：DG-SF334で使用できる機能です。
SP305 ：DG-SP305で使用できる機能です。
SP304V ：DG-SP304Vで使用できる機能です。
SP102 ：DG-SP102で使用できる機能です。
NP502 ：DG-NP502、DG-NW502Sで使用できる機能です。

<表示言語の切換について>

（取扱説明書　操作・設定編　PCから画像を見るーライブ画ページについて）

[select language］プルダウンメニュー

画面に表示される言語を切り換えることができます。また、カメラにアクセスしたときに表示される最初の言語を「基本設定」の「言語選択」で設定することができます。

（取扱説明書　操作・設定編　本機の基本設定を行う［基本］ー基本設定を行う［基本］）

[言語選択]

カメラにアクセスしたときに表示される最初の言語を設定します。ライブ画面でも表示言語を切り換えることができます。

<画面内文字について>

（取扱説明書　操作・設定編　本機の基本設定を行う［基本］ー基本設定を行う［基本］）
※ SW355 対応済

画像内で表示する文字列の文字数を16文字から20文字に拡張します。

<サマータイム設定について>

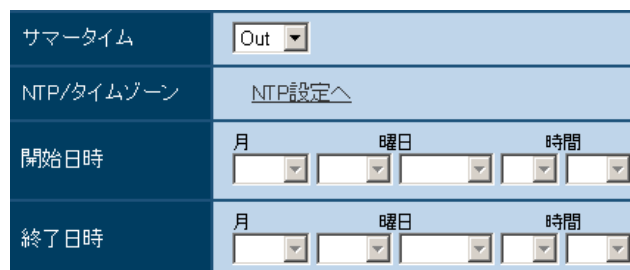
（取扱説明書　操作・設定編　本機の基本設定を行う［基本］ー基本設定を行う［基本］）
※SW355 対応済

[サマータイム]

サマータイムを使用するかどうかをIn ／ Out ／ Autoで設定します。サマータイムを使用する地域で設定します。

In　：時刻をサマータイムにします。時刻表示に「*」が表示されます。
Out　：サマータイムを解除します。
<u>Auto ：開始日時、終了日時設定（月、週、曜日、時刻）に従って、サマータイム時刻に切り換えます。</u>

初期設定：Out

<SDメモリカードへのスケジュール保存について>

(取扱説明書　操作･設定編　本機の基本設定を行う［基本］－SDメモリーカードを設定する［SDメモリーカード］)

SF335　SP305　NP502　※SW355 対応済

[保存モード]

SDメモリーカードへ画像を保存する方法を以下から選択します。

　FTP定期送信エラー時　：FTPサーバーへの定期送信が失敗したときに画像を保存します。JPEGのみ有効。
　アラーム発生時　　　：アラームが発生したときに画像を保存します。
　手動保存　　　　　　：画像を手動で保存します。
　スケジュール保存　　：スケジュール設定に従って、画像を保存します。H.264のみ有効。

初期設定：FTP定期送信エラー時

(取扱説明書　操作・設定編　スケジュールの設定を行う［スケジュール］)

「動作モード」からスケジュールの動作を選択します。
初期設定時は「Off」に設定されています。

　Off　　　　　　：スケジュール動作を行いません。
　アラーム入力許可：スケジュール設定されている間、端子のアラーム入力を許可します。
　動作検知許可　　：スケジュール設定されている間、動作検知を許可します。
　画像公開許可　　：スケジュール設定されている間以外は、［ユーザー認証］タブで設定したアクセスレベル2、3のユーザーからの画像閲覧を禁止します。
　SD録画　　　　　：スケジュール設定された時間になると、SD録画を行います。なお、H.264のときのみ有効です。

<JPEG画像の画質設定について>

(取扱説明書　操作・設定編　画像・音声に関する設定を行う［カメラ］－JPEG画像を設定する［JPEG/H.264］(または［JPEG/MPEG-4］))

※SW355 対応済

[画質選択]

ライブ画ページでJPEG画像を表示する際、最初に表示する画像の画質を画質１、画質２から設定します。
初期設定：画質１

[画質設定]

それぞれの解像度におけるJPEG画像の画質を２種類設定します。

　０ 最高画質／１ 高画質／２／３／４／５ 標準／６／７／８／９ 低画質

初期設定：
－画質1の場合：５ 標準
－画質2の場合：８

FTP定期送信、メール添付、SDメモリー録画のJPEG画像は、画質１の設定になります。

<H.264画像、MPEG-4画像の配信モードについて>

（取扱説明書　操作･設定編　画像･音声に関する設定を行う［カメラ］－H.264画像に関する設定を行う［JPEG/H.264］）
（取扱説明書　操作･設定編　画像･音声に関する設定を行う［カメラ］－MPEG-4画像に関する設定を行う［JPEG/MPEG-4］）
※SW355 対応済

[配信モード]

H.264画像、MPEG-4画像の配信モードを以下から設定します。

配信モード	フレームレート指定
フレームレート＊	30fps＊
1クライアントあたりのビットレート＊	最大 4096kbps＊ ～ 最小 4096kbps＊
画質	標準
リフレッシュ間隔	1s

固定ビットレート　　：H.264画像、MPEG-4画像を「1クライアントあたりのビットレート＊」で設定したビットレートで配信します。
フレームレート指定　：H.264画像、MPEG-4画像を「フレームレート＊」で設定したフレームレートで配信します。
ベストエフォート配信：ネットワークの帯域に応じて、H.264画像、MPEG-4画像を「1クライアントあたりのビットレート＊」で設定した最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。

初期設定：フレームレート指定

次の設定項目の初期値を変更します。

設定項目	従来	Ver.1.40以降
配信モード	固定ビットレート	フレームレート指定
リフレッシュ間隔	3s	1s

<表示用プラグインソフトウェアでの画像表示について>

（取扱説明書　操作･設定編　画像･音声に関する設定を行う［カメラ］－H.264画像に関する設定を行う［JPEG/H.264］）
（取扱説明書　操作･設定編　画像･音声に関する設定を行う［カメラ］－MPEG-4画像に関する設定を行う［JPEG/MPEG-4］）

[プラグインソフトウェアでのライブ画スムーズ表示（バッファリング）]

On　：本機の画像を一時的にPCに蓄積し、より滑らかに表示します。
Off　：本機の画像をPCに蓄積せず、リアルタイムに表示します。

初期設定：On

プラグインソフトウェアでのライブ画スムーズ表示（バッファリング）	◉ On　○ Off

重要

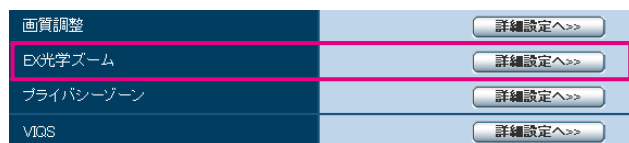
- 画像表示の遅延が気になる場合は、「Off」を選択してください。

<EX光学ズームについて>

（取扱説明書　操作･設定編　画像･音声に関する設定を行う［カメラ］ー画像とプライバシーゾーンを設定する［画質］） SF335 SF334 SP305 SP304V ※SW355 対応済

カメラページの［画質］タブをクリックします。

[EX光学ズーム]

[詳細設定へ>>] ボタンをクリックすると、EX光学ズームの設定画面が別ウインドウで表示されます。

EX光学ズームを使って画角を調節する

カメラページの［画質］タブの「EX光学ズーム」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。

EX光学ズームを使って、表示される画像の画角を調節します。

：ズーム（倍率）を「広角」方向に調節します。

×1 ：ズーム（倍率）を1.0倍にします。

：ズーム（倍率）を「望遠」方向に調節します。

重要

- マスクエリア、プライバシーゾーン、動作検知エリアの設定をした状態でEX光学ズームの設定を行うと位置がずれます。そのため、EX光学ズームの設定をしたあとで、各エリアの設定をしてください。

<音声圧縮方式について>

（取扱説明書　操作・設定編　画像・音声に関する設定を行う［カメラ］ー音声を設定する［音声］）
SF335 SF334 SP305 SP304V NP502 ※SW355 対応済

[音声圧縮方式]

音声の圧縮方式をG.726／G.711から選択します。

初期設定：G.726

音声圧縮方式	◉ G.726	○ G.711

お知らせ

- 弊社の他のi-PROシリーズでは、特に明記されていない限り、「G.711」には対応しておりません（2011年10月現在）。
- G.711は「音声モード」が「受話」のときのみ選択できます。

<独自アラーム通知の拡張情報、通知先について>

(取扱説明書　操作・設定編　アラーム設定を行う［アラーム］－独自アラーム通知に関する設定を行う［通知］)

［アラームエリア情報付加（動作検知）］
動作検知アラームのアラームエリア番号を、独自アラームで通知するかどうかをOn／Offで設定します。
初期設定：Off

［通知先1］～［通知先8］
独自アラーム通知先をIPアドレスまたはホスト名で設定します。通知先は8件まで設定できます。
「通知先アドレス」欄：通知先のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字　　　：半角英数字、半角記号：. _ -

重要
- 「通知先アドレス」のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。
- 通知先が正しく設定されていることを確認してください。通知先が存在しない場合、独自アラーム通知の遅延や送信抜けが発生することがあります。

<独自アラーム通知に関するエラー表示>

(取扱説明書　操作・設定編　システムログ表示について)
システムログの内容に以下の項目が追加されます。

分類	表示内容	エラー内容詳細
独自アラーム通知先エラー	DNSから通知先アドレス解決できず	●DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ●DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	通知先見つからず	●通知先のIPアドレスが間違っている可能性があります。通知先のIPアドレスの設定を再確認してください。 ●通知先がダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

<XML通知の通知データフォーマットについて>

（取扱説明書　操作・設定編　画像認識の設定［画像認識］－XML通知を設定する［XML通知］）

［通知データ］

通知するデータの種類を選択します。いずれかを選択します。

　検出情報（通常フォーマット）
　検出情報（簡易フォーマット）

初期設定：検出情報（通常フォーマット）

［通知間隔］

通知間隔を選択します。

　１ｓ／２ｓ／３ｓ／４ｓ／５ｓ／６ｓ／10ｓ／15ｓ／20ｓ／30ｓ／１min

初期設定：1s

お知らせ

- ［通知データ］を「検出情報（通常フォーマット）」に設定した場合、［通知間隔］は、「1s」または「2s」のみ選択できます。

<ユーザー認証の認証方式について>

（取扱説明書　操作・設定編　認証を設定する［ユーザー管理］－ユーザー認証を設定する［ユーザー認証］）

［認証方式］

ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

　Digest or Basic：ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。
　Digest　　　　：ダイジェスト認証を使用します。
　Basic　　　　 ：ベーシック認証を使用します。

初期設定：Digest or Basic

お知らせ

- ［認証方式］の設定を変更した場合は、ウェブブラウザーを閉じて、アクセスし直してください。
- 弊社の他のi-PROシリーズやネットワークディスクレコーダーなどでは、特に明記されていない限り、ダイジェスト認証には対応していません（2011年10月現在）。

<NTPサーバーについて>

（取扱説明書　操作・設定編　サーバーの設定をする［サーバー］－NTPサーバーを設定する［NTP］）

※SW355 対応済

［NTPサーバーアドレス取得方法］

「時刻調整」で「NTPサーバーに同期」を選択した場合は、NTPサーバーアドレスの取得方法を選択します。

　Auto　　：DHCPサーバーからNTPサーバーアドレスを取得します。
　Manual　：NTPサーバーアドレスを「NTPサーバーアドレス」に入力して設定します。

初期設定：Manual

重要

- 「NTPサーバーアドレス」をDHCPサーバーから取得する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブで「接続モード」をDHCPあるいは自動設定に設定する必要があります。

<ネットワーク設定について>

（取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］－ネットワークを設定する［ネットワーク］）
※SW355 対応済

[DHCPv6]

IPv6のDHCP機能を使用するかどうかをOn ／ Offで設定します。
DHCP機能を使用しないPCと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
初期設定：Off

[DNSプライマリーサーバーアドレス]、[DNSセカンダリーサーバーアドレス]

DNSサーバーのIPv6アドレスを入力します。DNSサーバーのIPv6アドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。
初期設定：空欄

[RTPパケット 最大送信サイズ]

RTPパケット 最大送信サイズ	◉制限なし(1500byte)	○制限あり(1280byte)
HTTPの最大セグメントサイズ	◉制限なし(1460byte)	○制限あり(1024byte)

RTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信するRTPパケットサイズを制限するかどうかを設定します。通常は、「制限なし（1500byte）」のまま使用することをお勧めします。
使用する通信回線のパケットサイズが制限されている場合は、「制限あり（1280byte）」を選択してください。
通信回線の最大パケットサイズについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
初期設定：制限なし（1500byte）

[HTTPの最大セグメントサイズ（MSS）]

HTTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ（MSS）を制限するかどうかを設定します。通常は、「制限なし（1460byte）」のまま使用することをお勧めします。
使用する通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）が制限されている場合は、「制限あり（1024byte）」を選択してください。通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
初期設定：制限なし（1460byte）

<UPnPについて>

（取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定［ネットワーク］－ネットワークを設定する［ネットワーク］）
※SW355 対応済

UPnP		
自動ポートフォワーディング	○On	◉Off
カメラへのショートカット	○On	◉Off

UPnP機能を使用すると、以下の設定を自動で行うことができます。

- ルーターのポートフォワーディング機能を設定すること。（ただし、UPnP対応のルーターが必要です。）
  この設定はインターネットや携帯電話・携帯端末からカメラにアクセスする場合に便利です。
- カメラへのショートカットをPCの［マイネットワーク］フォルダー（Windows VistaとWindows 7の場合は、［ネットワーク］フォルダー）に作り、カメラのIPアドレスが変わってもそのショートカットが自動で更新されること。

[自動ポートフォワーディング]
ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをOn ／ Offで設定します。
自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。
初期設定：Off

お知らせ
- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、PCやレコーダーなどに登録されているカメラのポート番号を変更する必要があります。
- UPnPの機能は、カメラをIPv4ネットワークに接続する場合に使用できます。IPv6には対応していません。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、メンテナンスページの［ステータス］タブをクリックし、［UPnP］のステータスが［有効］になっていることを確認します。

[カメラへのショートカット]
カメラへのショートカットをPCの［マイネットワーク］フォルダー（Windows VistaとWindows 7の場合は、［ネットワーク］フォルダー）に作るかどうかをOn ／ Offで設定します。カメラのショートカットを作る場合に、［On］を選択してください。
カメラへのショートカット機能を使用するには、あらかじめPCでUPnP機能を有効に設定してください。
初期設定：Off

お知らせ
- Windowsの［マイネットワーク］フォルダー（Windows VistaとWindows 7の場合は、［ネットワーク］フォルダー）にカメラへのショートカットを表示させるには、Windowsコンポーネントを追加する必要があります。以下を参照して、UPnPを有効にしてください。

  Windows XPの場合
  ［スタート］→（［設定］）→［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］→［Windowsコンポーネントの追加と削除］→［ネットワークサービス］を選択する→［詳細］→［インターネットゲートウェイデバイスの検出とクライアントの制御］と［UPnPユーザーインターフェース］にチェックを付ける→［OK］→［次へ］→完了

  Windows Vistaの場合
  ［スタート］→［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット］→［ネットワークと共有センター］→［共有と探索］の［ネットワーク探索］の項目を広げる→［ネットワーク探索を有効にする］を選択する→［適用］をクリックする→完了

  Windows 7の場合
  ［スタート］→［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット］→［ネットワークと共有センター］→［共有の詳細設定の変更］の［ネットワーク探索］の［ネットワーク探索を有効にする］を選択する→［変更の保存］をクリックする→完了

<ステータスを確認する［ステータス］>

（取扱説明書　操作・設定編　本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］）
メンテナンスページの［ステータス］タブをクリックします。
ここでは、本機のステータスを確認することができます。

［UPnP］

ポート番号（HTTP）、ポート番号（HTTPS） SW355
：UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。
ステータス：ポートフォワーディングの状態が表示されます。
ルーターのグローバルアドレス
：ルーターのグローバルアドレスが表示されます。

UPnP	
ポート番号(HTTP)	–
ステータス	無効
ポート番号(HTTPS)	–
ステータス	無効
ルーターのグローバルアドレス	

<ヘルプについて>

（取扱説明書　操作・設定編　ヘルプを見る）

ヘルプ画面を廃止します。
操作方法、設定方法については、取扱説明書をお読みください。

<携帯端末について>

携帯端末から本機に接続し、本機の画像（MJPEG形式のみ）を表示します。自動で最新画像に更新されます。対象機種は、次のとおりです。（2011年10月現在）。
iPad®、iPhone®、iPod touch®、Android™ 端末（docomo P-07C）

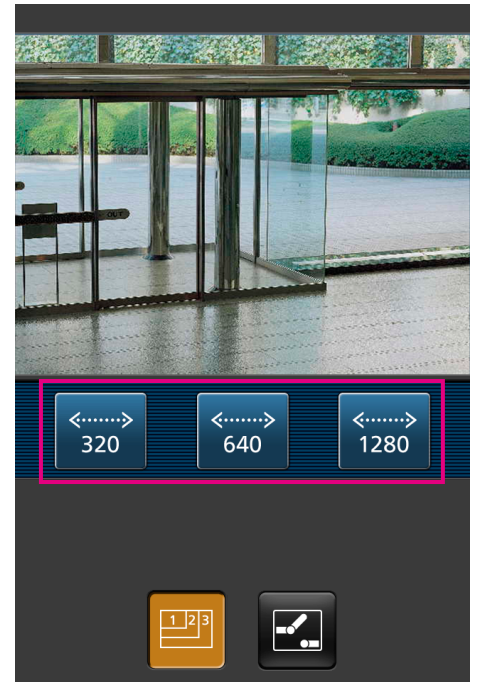
重要
- 認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードの初期設定は以下になります。
  ユーザー名：admin
  パスワード：12345
  セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。

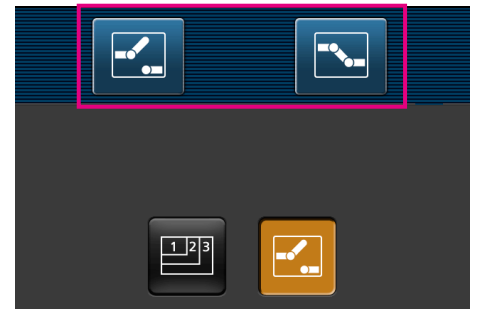
携帯端末で「http://IPアドレス/cam」または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名/cam」を入力し、決定ボタンを押します。
→本機の画像が表示されます。

解像度切換

ボタンを押すと、解像度を選択するためのボタンが画面に表示されます。解像度が表示されたボタンを選択することにより、解像度を切り換えます。

お知らせ

- 「解像度切換」を行っても表示される解像度は変わりますが、携帯端末の機種によっては画像サイズが変わらないことがあります。
- 「2048x1536」、「1920x1080」の解像度は表示できません。 NP502

AUX制御 SW355 SF335 SP305 NP502

ボタンを押すと、AUX出力を操作するためのボタンが画面に表示されます。
表示されたボタンにより、AUX出力端子を制御できます。

お知らせ

- HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://IPアドレス:ポート番号/cam」を入力して、本機のポート番号を指定してください。DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/cam」を入力してください。
- ネットワークページの［ネットワーク］タブの［HTTPS］－［接続方法］で［HTTPS］を設定している場合は、下記のように入力してください。 SW355
  「https://IPアドレス:ポート番号/cam」または、「https://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/cam」
- 認証ダイアログが表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。携帯端末によっては、画面が切り換わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
- 携帯端末からは、音声の受信／送信はできません。
- 携帯端末によっては、画像のサイズが大きい場合に画像の表示ができないことがあります。その場合は、「JPEG」の「画質設定」を低画質に近づけると表示されることがあります。
- お使いの携帯端末および契約プランによってはアクセスできない場合があります。

<機能名称の変更について>

※ SW355 対応済

次の機能の名称を変更します。

機能名	Ver.1.40以降
ワンショット	スナップショット
VMD	動作検知
LED表示	ランプ表示